



平成 28 年度文化庁文化芸術振興費補助金

揖保川渡し船で結ぶ「室津海道」界隈の歴史遺産

網干ロマン街道めぐり

■期間
平成 28 年

11月29日(火) ~ 12月4日(日)

10:00 ~ 16:00

オープニング

- 11月29日(火) 午前9時30分~
- あぼしまち交流館

来賓挨拶・播州段文音頭網干保存会による段文音頭

播州祇園囃子を聞きながら

昔を偲ぶ渡し船の体験

- 乗船場所：あぼしまち交流館北側河川敷より浜田側へ
浜田側河川敷より交流館側へ（但し片道）

| 月 日 | 交流館側 | | 浜 田 側 | |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 11月29日 | 13:00 | 14:00 | 13:30 | 14:30 |
| 11月30日~ | 10:00 | 11:00 | 10:30 | 11:30 |
| 12月4日 | 13:00 | 14:00 | 13:30 | 14:30 |

(荒天・雨天の時は中止の場合あり)

■総合案内所■

あぼしまち交流館 ☎079-255-8001
裏面マップ⑩をご参照

イベント案内・資料は総合案内所にあります。
休憩所・手荷物預かり所

- 交通機関 山陽電車網干駅より徒歩 8 分
- 駐 車 場 交流館北側河川敷

● 期間中混雑が予想される為出来るだけ公共機関をご利用下さい。

先着順

(現地にて乗船券配布)
乗船定員 1 2 名

無料



期間中公開施設

各施設の詳細及びマップは裏面をご覧ください。

① 龍門寺

- 盤珪和尚が創建した禅寺
- 11月29・30/12月1・2日
 - 寺宝館、諸堂開放
 - 禅堂での坐禅体験 (10:30~11:00・14:00~14:30)
 - 書籍(絵物語ばんけいさん) 陶芸(龍門寺窯作品販売)
 - 大駐車場有

② 不徹寺

- 二の字二の字の句で有名な田ステ女が開いた寺
- 期間中 田ステ女の自画像・直筆短歌等展示
 - 300年前に建てられた禅堂で坐禅体験ができます。
 - 参拝記念品を販売

③ 義徳院

- 盤珪和尚が誕生した時の産湯に使った井戸が現存
- 期間中境内のみ開館

④ 陣屋門

- 四国丸亀藩の飛び地で網干一万石の陣屋の跡地
- 期間中資料館開館

⑤ 水井家

- 戦前まで木材問屋をしていた豪壮な家屋
姫路市都市景観重要建築物第40号
- 期間中一部開館

⑥ 山本家住宅

- 明治から大正にかけて建てられた和洋折中の住宅
姫路市都市景観重要建築物第1号
- ボランティアにて案内
 - 《案内時間》
午前10時より20分毎に(入館は15:30まで)
 - 入館には資料代として300円
 - 期間中コーヒーが離れ座敷にて飲食できます。(200円)

⑧ ダイセル異人館

- 明治創設時のスイス・イギリス等の技師の住宅
- 11月29日・30日・12月1日 13:00~14:00 30名限定

⑦ 大覚寺

- 国指定重要文化財十六羅漢像を始め、豊臣秀吉・徳川家康の禁制の書など県・市の重要文化財が多数の寺宝を公開
- 寺宝展 12月2日・3日
 - 資料・拝観の浄財として200円
 - 大覚寺の書画一冊 500円
 - ナラジャ(豆ご飯)お茶販売 (12月2日のみ)
 - 期間中本堂開館。

⑨ 誠塾

- 河野東馬が建てて多くの人材を輩出した私塾
- 期間中公開・明治時代の教科書展示
 - 11/29, 30・12/3, 4 弁当(限定)500円で販売

⑩ あぼしまち交流館

- 網干6町が町おこしのために姫路市の援助で建てて、あらゆる行事の中心基地として活用している交流館
《イベントの総合案内所》
- 12月3日・4日
 - カレーライス・コーヒー
 - 浜田婦人部によるおでん他販売
 - 網干漁協による牡蠣の販売
 - 揖保川漁協による地元産物の販売
 - 12月3日 あぼしまち朝市
 - 11月29日~12月2日 ミニ野菜市
 - その他催し物・販売など

■主催 網干歴史ロマンの会 / 網干・網干西連合自治会 / 新在家自治会
余子浜自治会 / 垣内自治会 / 大江島自治会 / 浜田自治会 / 興浜自治会
播州段文音頭網干保存会 / 網干地方史談会 / 網干歴史教育の会
網干商工同友会 / 網干商店連合会 / 大覚寺・大覚寺総代会
姫路市文化財保護協会

《協力団体・協力企業》

- ・ 姫路市漁業協同組合網干支所・揖保川漁業協同組合
- ・ 浜田婦人部・興浜婦人会・ぬかちゃん作業所・浪花堂
- ・ 西原提灯店・まる万鮮魚店・山崎屋・喫茶 タオ
- ・ NPO 法人あぼしまちコミュニケーション



① 龍門寺

臨済宗妙心寺派寺院。山号を天徳山と称する。盤珪禅師は網干浜田に生まれ17歳で出家。寛文(1661年)龍門寺を創建。

建築物「大門・禅堂・瑞鳳庵・経蔵・旧隠寮・大方丈・開山堂・鐘楼・観音堂・地藏堂・不動堂・庫裡



② 不徹寺

龍門寺の南東にあり、元禄元年(1688)丹波柏原生まれの田捨女が開いた寺。座禅

が体験できる禅堂がある。捨女は6才の時「雪の朝二の字二の字の下駄の跡」を詠んだことで知られている。



③ 義徳院

臨済宗妙心寺派寺院。盤珪国師の生誕地。盤珪国師の妹・寿清尼によって、貞亨4年(1687)に創建された。

境内には盤珪国師の誕生記念碑と産湯を使ったという古井戸や遺品などが保存されている。



④ 陣屋門

羽柴秀吉公が姫路城在住の際、領内を狩猟、散策に出た時の一時休憩所を置いて鶴松亭として命名。万治元年京極公が丸亀に移封の際、網干耆万石の領分を分割保有し治所として使用された。

陣屋門西側に田捨女の石像があります。



⑤ 水井家

大正時代の建物で、戦前まで材木問屋を営んでいた事もあり、屋敷構えは豪壮

で、平成23年に姫路市都市景観重要建築物に指定されています。



⑥ 山本家住宅

約1800㎡の敷地に母屋と洋館、和館離れのが3棟建つ。主屋は明治初期、和館・洋館は大正3~7年に当時網干銀行

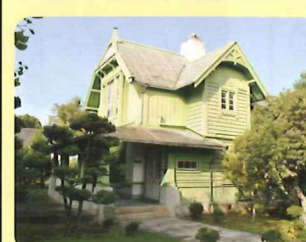
頭取を務めた山本眞蔵が建てた。一部3階の望楼があり、洋館の応接室・書斎など豪華でステンドグラスや絵が描かれた2枚貝が壁一面に埋め込まれている洗面所など価値ある建造物。



⑦ 大覚寺

「鶴立山 大覚寺」天福元年(1233)定翁隆禅上人の開基。十六羅漢像(国指定重要文化財)を始め、

寛永十一年(1634)第十三世中興空韻俊与上人によって本堂が建てられた。江戸時代には、寺領三十石の朱印地として『三葉葵』の紋を許され、十万石の大名と同じ格式をもっていた。



⑧ ダイセル異人館

明治41年に創設されたダイセル化学工場敷地内に2棟ある洋館の一つ技術指導を担当したイギリス・スイス・ドイツから5名の技師職の住宅として建てられたもので、現在資料館として保存されている。



⑨ 誠塾

河野東馬が慶応4年(1868)に建てたという「稻香村舎」は明治22年に私塾名を「誠塾」とし多くの人材を排出。昭和23~30年には網干農学塾が開設されていた。建物は農家形式である。

網干ロマン街道めぐりマップ

